



平成27年（2015年）

兵庫県産業連関表

（分析利用編）

令和2年3月

兵庫県企画県民部ビジョン局統計課

は じ め に

産業連関表は、1年間の県内経済活動により、各産業や家計などの経済主体が相互に行った財・サービスの取引状況を一覧表にしたもので、県経済の規模や産業構造などを明らかにするとともに、各種係数を用いて経済諸施策の波及効果の測定などを行うことができます。

この報告書（分析利用編）は、産業連関表の見方や分析方法についての基本的な考え方や分析事例などについて取りまとめたものです。

本書により、産業連関表への理解や関心が深まり、各方面で御活用いただければ幸いに存じます。

最後になりましたが、本書の作成に当たり、貴重な資料等を御提供いただきました方々に対しまして、厚くお礼申し上げます。

令和2年3月

兵庫県企画県民部ビジョン局統計課長

利 用 上 の 注 意

1 平成 27 年（2015 年）兵庫県産業連関表は、国の産業連関部局長会議（総務省外 9 省庁）による「平成 27 年（2015 年）産業連関表作成基本要綱」（平成 29 年 8 月）などに準拠して作成したものです。

なお、県民経済計算における類似項目の計数とは、概念・定義、推計資料・方法等が異なるため、必ずしも一致しない場合があります。

2 対象とする期間等は、平成 27 年暦年（平成 27 年 1 月～12 月）1 年間における兵庫県内の経済取引を対象としています。

3 部門分類は原則としてアクティビティ・ベース（生産活動単位）であり、同一事業所であっても二つ以上の活動が行われている場合は、各々異なった部門に分類しています。

4 前回の平成 23 年表とは部門分類が異なっており、また、概念・定義あるいは推計方法に変更のあった部門もありますので、前回表との比較には注意してください。

なお、従前表と同様に「自家輸送部門」は設定していません。

5 各統計表の数値は、表章単位未満を四捨五入しているため、「合計」欄の数値と内訳の数値の和とが一致しない場合があります。

6 各統計表中の記号は、次のとおりです。

「0.0」 …………… 表章単位に満たないもの

「▲」 …………… 負数（マイナス）

7 本文及び各統計表中の「対前回増加率」は次式により算出しています。

$$\text{対前回増加率（\%）} = \frac{\text{平成 27 年の計数} - \text{平成 23 年の計数}}{|\text{平成 23 年の計数}| \text{（絶対値）}} \times 100$$

8 統計表〔基本分類表（185 部門表）・統合中分類（106 部門表）・統合大分類表（39 部門表）等〕については、兵庫県のホームページの「県政情報・統計」ページ内（https://web.pref.hyogo.lg.jp/stat/cate3_725.html）で提供していますので、ご利用ください。

※ 次回「令和 2 年（2020 年）兵庫県産業連関表」は、令和 6 年度に公表予定です。

本書に関する問い合わせ先

〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5 丁目 10 番 1 号

兵庫県企画県民部ビジョン局統計課政策統計班

電 話：（078）362-4123（直通）

F A X：（078）362-4131

目 次

はじめに

利用上の注意

第1章 産業連関分析とは

1. 1 産業連関分析の意義	1
1. 2 産業連関分析の類型	1
1. 3 分析のための3つの道具	2
1. 4 産業連関分析の進め方	2

第2章 産業連関分析のための各種係数概念

2. 1 投入係数	4
2. 2 逆行列係数	6
2. 3 影響力係数と感応度係数	9
2. 4 最終需要と生産	10
2. 5 最終需要と粗付加価値	11
2. 6 最終需要と移輸入	12
2. 7 その他の分析係数	13
2. 8 その他の産業連関分析上の用語	14

第3章 産業連関分析の事例

3. 1 分析上の留意点	16
3. 2 分析事例	
＜39部門表での推計＞	
〔分析事例1〕産業部門ごとの経済波及効果の推計	18
〔分析事例2〕イベント開催による訪問者の消費がもたらす経済波及効果	28
〔分析事例3〕企業の立地及び設備投資がもたらす経済波及効果	33
〔分析事例4〕建設投資（工事種類別）がもたらす経済波及効果	37
〔分析事例5〕高齢者福祉施設建設及び運営がもたらす経済波及効果	39
〔分析事例6〕電気機械部門の増産がもたらす経済波及効果	44
〔分析事例7〕輸出増加がもたらす経済波及効果	45
〔分析事例8〕生産増加が環境にもたらす効果	48
〔分析事例9〕価格変化がもたらす効果	52
〔分析事例10〕部門別経済波及が税収にもたらす効果	53
3. 3 平成27年兵庫県産業連関表のスカイライン分析	55
3. 4 最近の産業連関分析事例	56

第4章 産業連関表の基本フレーム・各部門の概念

4. 1 産業連関表の基本フレーム	57
4. 2 産業連関表の部門概念	66